

平成24年度
教育委員会の点検・評価
報告書

平成25年8月
あま市教育委員会

－ 目 次 －

1. はじめに
2. 教育委員会会議の開催状況
3. 教育委員会会議の審議状況
4. 教育委員会会議以外の活動状況
5. あま市教育立市プラン
6. 主な事業の取組状況
 - (1) 学校教育課
 - 教職補助員配置事業
 - 英語教育の推進
 - 教育相談センター事業
 - 小中学校適正規模等見直し検討事業
 - 人権教育（あま市小中学校人権教育研究会）
 - 県委託事業
 - 特色ある学校づくり推進事業
 - あま教師塾
 - 教育人材バンク「学びの道の案内人」と出前授業
 - 教師力パワーアップ研修
 - 学校支援会議
 - 小中学校施設整備事業

(2) 生涯学習課

- 社会教育事業
- 公民館事業
- 成人式事業
- 家庭教育推進事業
- 青少年健全育成推進事業
- 人権教育推進事業
- 文化振興事業
- 歴史民俗資料館及び文化財保護啓発事業
- 社会教育施設整備事業
- スポーツ教室
- スポーツ行事・大会
- その他スポーツ事業
- 社会体育施設整備事業
- 美和文化会館事業
- 美和図書館事業

(3) 学校給食センター

- 学校給食事業
- 学校給食センター整備事業

7. 学識経験者による意見

1. はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部を改正する法律が、平成20年4月1日に施行され全ての教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととなりました。

また、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされました。

あま市教育委員会では、効果的かつ効率的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすため、「教育委員会点検・評価」を実施し、報告書にまとめました。

2. 教育委員会会議の開催状況

平成24年度は定例会議を12回、臨時会議を1回開催しました。

(1) あま市教育委員会委員（平成25年3月31日現在）

| 職 名 | 氏 名 | 任 期 |
|----------|---------------------|--|
| 委員長 | にのみや てつや 二ノ宮 鉄弥 | 平成22年3月22日から平成22年6月24日 平成22年6月25日から平成25年6月24日 |
| 委員長職務代理者 | ほりえ てつじろう 堀江 徹二郎 | 平成23年6月25日から平成27年6月24日 |
| 委 員 | なんや えみこ 南谷 恵美子 | 平成22年3月22日から平成22年6月24日 平成22年6月25日から平成26年6月24日 |
| 委 員 | おがさわら えいし 小笠原 英司 | 平成22年3月22日から平成22年6月24日 平成22年6月25日から平成24年6月24日 平成24年6月25日から平成28年6月24日 |
| 教育長 | まつなが ひろかず 松永 裕和 | 平成24年4月1日から平成26年6月24日 |

(2) 教育委員会会議等

| 開 催 日 | 開 始 時 間 | 議案件数 | 報告件数 |
|----------------|---------|------|------|
| 平成24年 4月1日(日) | 午後2時 | 3 | 0 |
| 4月24日(火) | 午後2時 | 7 | 5 |
| 5月15日(火) | 午前10時 | 4 | 1 |
| 6月22日(金) | 午後2時 | 8 | 5 |
| 7月19日(木) | 午後2時 | 5 | 7 |
| 8月21日(火) | 午後2時 | 5 | 4 |
| 9月27日(木) | 午後3時 | 11 | 6 |
| 10月22日(月) | 午後2時 | 7 | 5 |
| 11月20日(火) | 午後2時30分 | 7 | 5 |
| 12月18日(火) | 午後2時 | 8 | 4 |
| 平成25年 1月15日(火) | 午後2時 | 5 | 6 |
| 2月19日(火) | 午後2時 | 8 | 3 |
| 3月14日(木) | 午後3時30分 | 11 | 7 |

3. 教育委員会会議の審議状況

12回の定例会では、「後援申請」、「就学援助費の受給審査」、「区域外就学、指定学校変更」、「教科用図書採択」など86件の議案が協議され、活発な議論がなされました。

また、臨時会（平成24年4月1日開催）では、「教育長の選出」など3件の議案が協議されました。

4. 教育委員会会議以外の活動状況

委員の活動状況は次のとおりでした。特に小中学校の行事に積極的に参加し、教育現場の実態把握に努めました。また、市長部局と連携し、予算の確保、議会答弁等市議会と積極的かつ綿密な関係を持ちながら様々な事業を展開しました。

| | |
|--------------|-----|
| ○市議会関係 | 38回 |
| ○都市教育長会事業 | 8回 |
| ○海部地方教育事務協議会 | 6回 |
| ○学校行事 | 35回 |
| ○学校訪問 | 18回 |
| ○その他学校教育課事業 | 46回 |
| ○生涯学習課事業 | 46回 |
| ○学校給食センター事業 | 3回 |
| ○表敬訪問 | 10回 |
| ○その他の事業 | 83回 |

5. あま市教育立市プラン

あま市は、「教育立市」を進めるまちづくりを目指し、学校・家庭・地域の連携のもと、まち全体であま市の子ども（「あまっ子」）の育成を推進しています。これらの考えをもとに、平成24年4月に策定した「あま市教育立市プラン」の具現化を図るため、以下のような主要事業に取り組みました。

- スクールサポーター配置（全小中学校）
- 英語指導助手（ALT）配置（全小中学校（市雇用））
- 教育相談センター事業
 - ・教育相談（教育相談室）…臨床心理士、教育相談員、生徒指導支援員
 - ・教育アドバイザー派遣（全小中学校）
 - ・適応指導教室事業
- 人権教育の推進
- ドリームマップ作成事業（全小学校4年生又は5年生全員）
- 緑化事業（各小学校）
- 学習田（美和地区4小学校、甚目寺地区2小学校）
- いじめ・不登校対策協議会（含 学校緊急支援会議）
- 教員研修「教師力パワーアップ研修」
- 特色ある学校づくり推進事業
- 教育人材バンクと出前授業
- あま教師塾
- 第I期 教育課題検討委員会

参考 平成25年度には「あま市教育立市プラン」を見直し、数値目標を付け加え、プランの加筆・修正をしていきます。市の教育委員会・校長会議・教頭会で提案し、9月中に案を示し、年度末までに加筆・修正の作業を終える予定です。

6. 主な事業の取組状況

(1) 学校教育課

■教職補助員配置事業

児童生徒の基礎学力の充実を目指し、T T (チーム・ティーチング) 指導を始めとする少人数指導による学習支援や障がいのある児童生徒に対する学校生活上の介助や学習活動上の支援等を充実させるため、小中学校へ市雇用のスクールサポーターを配置しました。

- ・スクールサポーター 62人

※ きめ細かい少人数指導を実施し、それにより個に応じた指導を進めることができました。また、T T の授業を行うことで基礎学力の充実に寄与しました。

T T …担当の教師が進める授業に、教師と教職補助員がチームを組み、児童生徒の習熟度に合わせて教師を助力しつつ行う授業の形態のこと。

■英語教育の推進

児童生徒の外国語活動と国際理解教育の推進を図るため、邦人と外国人の非常勤講師を英語指導助手 (A L T) として各小中学校に配置し、次の内容を実施しました。

- (1) 中学校の英語科授業における英語指導
- (2) 小学校の英語活動における英語指導
- (3) 授業で使用する教材の作成
- (4) 教員に対する現職研修
- (5) 授業外の特別活動や課外活動など学校行事への参加
- (6) 研修やミーティングへの参加

- ・小学校：英語指導助手 8人(アメリカ合衆国、カナダ、日本)
- ・中学校：英語指導助手 4人(アメリカ合衆国)

また、市内外国語部会を年間3回開催し、各学校の外国語活動の取組について情報交換を行いました。10月には、教員のための研修として「小学校外国語活動における効果的なチーム・ティーチング」を開催しました。

※ 各小学校では、A L T とのT T 指導による外国語活動を円滑に実施することができました。これにより、生きた英語に触れることはもとより、児童の外国語への意欲・関心を高めることができました。また、各中学校でも、A L T と英語教師によるT T 指導を行い、生きた英語が響く教室で、生徒は積極的に会話を交わすことができるようになりました。

夏休みの教員を対象とした市内外国語研修では、先進的に取り組んでいる学校に、実際の授業の様子を紹介してもらったり、模擬授業を体験したりすることで、外国語指導の不安を解消することができました。

新学習指導要領の実施に伴い外国語活動が始まり、より高い指導力の教育体制づくりを目指していきます。

■教育相談センター事業

教育相談センターは、「学校教育支援」・「教育相談活動」・「不登校などの指導」を三つの柱とし次の事業を実施しました。

○学校支援事業

学校における日々の指導の中で、子ども同士のかかわりや高まりを大切にしたい学級経営や授業の改善を進める必要があります。そこで校内における現職教育や

「あま市教職員研修」の充実をめざして、「教育アドバイザーの派遣」と「教師力パワーアップ講座」を実施しました。

・教育アドバイザー派遣事業

各学校の教科指導、児童生徒の正しい理解を図るため、校内の現職教育の講師・助言者を外部から招聘しました。

・教師力パワーアップ講座

教員の力量向上を目指して年7回の講座を実施しました。児童生徒の正しい理解を目指して、特別支援やカウンセリングのあり方から心の問題に迫る講義やリスクマネジメントや授業づくりに関する講義が行われました。

○教育相談事業

教育上の悩み、いじめ、不登校問題等の「相談活動」や学校が行う生徒指導等への援助、指導及び研修等の学校支援を行いました。

校長・教頭・学級担任・生徒指導主任・養護教諭など学校関係職員との話し合いの場をもち、市教育委員会・学校と連携を図りました。

| | | |
|------|------------|----|
| 【職員】 | ・教育相談員 | 1人 |
| | ・心理支援相談員 | 1人 |
| | ・生徒指導支援員 | 1人 |
| | ・親と子の相談員 | 1人 |
| | ・学校支援教育指導員 | 1人 |

【教育・心理 相談面接件数（巡回指導含む。）】

| | | |
|--------|------|-----------|
| ・保護者 | 236件 | |
| ・児童生徒 | 634件 | |
| ・教職員 | 371件 | |
| ・校内研修会 | 52件 | 合計 1,293件 |

○適応指導教室事業

心理的・情緒的な要因により、不登校の状態にある児童生徒を対象として、適正な相談・助言及び生活指導・学習指導を行い、自立及び学校生活への自発的復帰を支援しました。

| | | |
|------|--------|----|
| 【職員】 | ・専任指導員 | 1人 |
| | ・補助員 | 5人 |

| | | |
|-------|--------------------|-----------|
| 【通室者】 | ・平成24年度適応指導教室の登録者数 | 22人 |
| | ・適応指導時間数 | のべ4,705時間 |

※ 教育相談室、適応指導教室、学校支援室など学校教育活動の支援体制を充実することができました。中でも適応指導教室では、児童生徒に対し適正な指導や臨床心理士の専門員による心理支援相談及び保護者に対しての面接相談を実施することができました。

■小中学校適正規模等見直し検討事業

市内には17の小中学校があり、旧3町単位で実施していた学区をそのまま引き継いでいますが、児童生徒数の規模の面や通学距離の面で差が生じています。そのため、市民の意見を聴きながら学区の見直しの必要性を検証し、必要に応じて旧3町の枠組みにとらわれることなく学区の抜本的な見直しを行うことにより、適正規模化を進めることとしました。

そして、平成25年度から具体的な検討を行うために、24年度にはあま市立小中学校適正規模等に向けた学区見直し検討委員会を設置するための要綱を25年

3月の教育委員会に諮り承認をされました。

○平成25年度適正規模等の取組みの具体か所

- ・甚目寺南小学校の一部の学区を甚目寺小学校の学区に変更。
- ・美和東小学校の全部（又は一部）の学区を美和中学校の学区から七宝北中学校の学区に変更。

※ 具体的に見直しを進めるための要綱を制定しましたので、25年度以降緊急性の高い地区から優先的に見直しの必要性の有無について検討し、住民の意見を聴きながら取り組んでいきます。

■人権教育（あま市小中学校人権教育研究会）

あま市小中学校人権教育研究会は平成24年度の研究主題を「人権尊重の確かな認識を培い、温かい人間関係を育む教育 ―知識と人権感覚を結び付け、実践的な行動力の定着を図るために―」として研究を進め、「自己実現を追求する活動を通して、人権尊重の教育」を推進しました。

○会 長 甚目寺東小学校長

○事業費 800,000円（市補助金）

○主な活動内容

- ・海部地区人権教育講演会実施
- ・全国人権・同和教育研究大会等参加
- ・研究紀要の作成

※ 児童生徒が実践的行動力を身に付けるための研究を進めた結果、様々な活動を通じて、より良い人間関係の中で、互いの良さを認め合い、互いの存在の大切さにも気付けるようになりました。また、取り組みの継続によって実践的な行動力も着実に育まれてきました。

■県委託事業

学校活動を円滑かつ充実させるために次の事業を実施しました。

○あいち・出会いと体験の道場推進事業

愛知県の委託事業として、大人へと心身ともに大きく成長する思春期に、社会の成り立ちについての理解や、働くことの意義、責任感、あいさつ、言葉づかいの大切さなど、社会性をしっかりと身につけてもらうため全中学校の2年生を対象に実施しました。

・事業費 622,547円（うち県委託金 455,000円）

・実施内容

| 学 校 名 | 参加生徒数 | 実 施 日 | 受 入 事業所数 |
|---------|-------|----------------|-------------|
| 七宝中学校 | 169名 | 10月18日、25日、26日 | 50か所 |
| 七宝北中学校 | 65名 | 6月26日～28日 | 11か所 |
| 美和中学校 | 264名 | 11月7日～9日 | 72か所 |
| 甚目寺中学校 | 205名 | 11月14日～16日 | 66か所 |
| 甚目寺南中学校 | 202名 | 10月30日～11月1日 | 46か所 |

※ 自立心と社会性が身につく、社会のマナーやルール、あいさつや言葉づかいの大切さなど社会性を学ぶことができました。また、今後の進路について、仕事の適性等将来を見据えた考えを持つことができました。

○理科支援員配置事業

愛知県の委託事業として、支援員を配置し、教員と協力して授業を行うことにより、理科の授業の充実・活性化を図るとともに、教員の観察・実験等体験的学習に関する指導力向上を図りました。

- ・事業費 530,000円（うち県委託金 530,000円）
- ・実施校 甚目寺西小学校
- ・実施学年 5、6年生
- ・支援員 学生 4人

※ 実験の準備や予備実験、教材研究などが十分にでき、児童の不安や分からないところを素早く支援できました。また、授業を計画的に進行でき、担任は授業に取り組み易くなるとともに、高学年の授業がより充実しました。

○夢をはぐくむ あいち・モノづくり体験事業

愛知県の委託事業として、子どもたちがモノづくりを直接体験するとともに、モノづくりの達人から話を聞くことで、働くことや学ぶことへの基盤づくりを図りました。

- ・事業費 85,000円（うち県委託金 85,000円）
- ・実施校 甚目寺小学校
- ・実施学年 6年生
- ・体験内容 七宝焼きづくり

※ 七宝焼きの達人や地域の方から直接話を聞き、触れ合いながら七宝焼きづくりの体験をしました。作品は、地域の甚目寺観音をモチーフとして、児童が共同で七宝焼きを作成、貼り合わせて大きな1つの作品を制作しました。技のすばらしさと生き方を学ぶことができ、また、地域にモノづくりの達人がいることを知り身近な地域に目を向けることができました。

○道徳教育総合支援事業

愛知県の委託事業として、自他の命の尊さに触れた資料などを扱い、命の偶然性、有限性、連続性をテーマとして話し合うことで、命の大切さについての考えを深めることができました。

- ・事業費 62,223円（うち県委託金 60,000円）
- ・実施校 甚目寺南小学校
- ・対象学年 全学年
- ・事業内容 道徳教育推進教師を中心とした3部会での研究推進
年間指導計画の作成
道徳教育研修会の実施
アンケートの実施
話し合い中心の道徳時間とするための指導形態の工夫・授業実践

※ 道徳教育についての研究や年間指導計画の作成、指導形態の工夫をし、授業での実践を行いました。児童は話し合いの内容に興味を深め、自分の生き方の課題と結びつけて受け止めることができました。また、資料の活用について工夫することで、児童の資料への集中力が高まり、道徳の時間を通して命についての自分なりの考えを深めることができました。

■特色ある学校づくり推進事業

- ・事業費 5,846,284円（全小中学校合計）
- ・実施校 全小中学校

市教育委員会では、平成24年度から「特色ある学校づくり推進事業」をスタートさせました。この事業は、各学校で話し合われた夢を実現し、魅力ある学校づくりを目指し、従来の市内一斉横並びの学校づくりではなく「やれる学校から やれることから」を始める事業となっています。

7月に事業の進み具合のヒアリングを学校で行い、11月には翌年度の事業についてプレゼンテーションを実施する審査会を開催しました。大学より有識者を招き、事業の方向性についてのアドバイスをいただきました。審査会の結果に基づき、12月に予算案の作成を進めました。事業の主なものについては次のとおりです。

- (1) 教師の資質向上を図り学校の教育力を高める事業
- (2) 子どもの基礎学力向上を図り確かな学力を育成する事業
- (3) 豊かな心づくりとたくましい体力づくりに関する事業
- (4) 学校を開き、家庭・地域・学校が連携し「地域に密着した学校づくり」に関する事業
- (5) 授業外の特別活動や課外活動など学校行事への参加

審査会を実施することで、限られた市の予算をより熱い思いの事業、特色ある学校づくりの活きた財源となるように配分しました。学校と市教育委員会の思いの共有化を図り、魅力ある学校づくりをめざし、新たな教育実践を推進していく話し合いの場として今後も進めていきます。

※ 各学校がそれぞれの特色を打ち出し、児童生徒の心に響く活動に取り組むことができるよう、学校の発想・裁量・自主性を醸成するきっかけの事業となり、学校の主体的な創意工夫による特色づくりを支援することができました。

■あま教師塾

市教育委員会では、平成24年度から、あま市内の小中学校の新任から2年目・3年目の教職員を対象として、自主的な研修活動を行うため「あま教師塾」を設置しました。平成25年度からは、期限付任用教員（期付）・派遣非常勤講師（非常勤）・臨時的任用教員（臨任）もこの塾に参加できることとし、教師力の向上を進めます。

あま教師塾では

- ・授業づくり・学級づくりに関する研修
- ・児童生徒や保護者との対応に関する研修
- ・カウンセリングや特別支援に関する研修
- ・喫緊の教育課題に関する研修

などを取り上げ、座学だけでなくグループ・ワーク等を実施しています。あま教師塾の企画・運営は、市内の校長・教頭・教務主任の代表と市教育委員会事務局に勤務する者とで運営委員会を構成し、実施しています。

※ 市内の若手教職員の研修活動を支援することができました。1年を通して9回の研修活動を行い、教師としての成長を感じました。

■教育人材バンク「学びの道の案内人」と出前授業

市教育委員会では、平成24年度に教育人材バンクを制度化しました。教育人材バンクは、あま市における学校教育の充実を図ると共に、文化・スポーツ等の各分

野において、知識・技能及び指導力を有する人材を登録し、学校が必要とする人材に関する情報を提供するために設置しました。教育人材バンクに登録する者は、講師及び学校支援ボランティアとし、次の活動を行うものとしています。

- (1) 講師は、登録された分野に係る指導、講座の実施等を学校の依頼に応じて行うものとする。
- (2) 学校支援ボランティアは、学校の依頼に応じて、登録された分野や学校行事等学校教育活動に係る支援を行うものとする。

平成25年1月末までに、各学校が教育人材に関するリストを提出し、このリストを基に、登録申請の受付をし、人材バンクの登録確認を行いました。

今後は、尚一層、人材バンクの人員を増やしていく予定です。

また、人材バンクと併せて「あま市ものしりジュニア検定」、「昔のくらしと道具」などの出前授業を全ての学校（52回の出前授業）で実施し、人材バンクの普及に努めました。

※ 地元の人材を掘り起こし、有効活用を図る教育人材バンクの設置、及び出前授業の実施は、地域に密着する市民協働のまちづくりの第一歩として効果を上げる事ができました。また、ふるさと学習を通して、郷土愛を育てる教育活動を推進していきます。

■教師力パワーアップ研修

平成23年度から始まった教師力パワーアップ研修は2年目を迎えました。平成24年度は講座にテーマを設定し、校務分掌等がかかわりのある教師に参加を依頼しました。日頃いろいろな問題に出会い、教師としてその解決に戸惑う場面に突き当たることが多くあり、そのような時、自信をもって立ち向かうことができる力を身につけることがこの講座のねらいです。講座の内容は次の通りです。

| 回数 | 研修内容 | 講師 |
|----|--------------------------|-----------------------|
| 1 | リスクマネジメントを考える | 元岡崎市立竜海中学校長 大久保慎一氏 |
| 2 | 授業づくりに向けてどうリーダーシップを発揮するか | 元豊田市立挙母小学校長 松山美重子氏 |
| 3 | 個に応じたきめ細やかな指導について考える講座 | 愛知淑徳大学 佐藤成哉氏 |
| 4 | 学校生活の中に遊びを生かす方法を考える講座 | 子育てネットワーク 志村貴子氏 |
| 5 | 特別支援を要する児童、生徒について | 前津島市立南小学校長 長谷川修三氏 |
| 6 | 子どもの行動を多面的に観察し考える | 前蟹江中学校 養護教諭 市川緑氏 |
| 7 | 子どもの行動を多面的にとらえる方法を学ぶ講座 | 名城大学 杉村 秀充氏 |

※ 教員の資質や力量の向上のため、校内では十分に行うことのできない研修について補充・充実を図ることができました。

■学校支援会議

市教育委員会では、平成24年度から、「あま市学校支援会議」を開始しました。

この会議は、「いじめ」、「不登校」、「問題行動（暴力行為などの触法行為）」、「自殺及び自殺未遂」、「児童生徒虐待」など緊急性を要する問題が学校で発生した際、

校長が家庭・地域・外部の専門機関の力を借りて問題を解決したいと判断した時に、「あま市学校支援会議（略称 緊急ケース会議）」を校長は市教育委員会に要請するもので、学校の抱える問題に対し、次のとおりきめ細やかに対応する仕組みをつくることをねらいとしています。

①家庭への働きかけや保護者に対する指導

②学校以外の専門機関（病院・警察）・学校関係者（民生児童委員・主任児童委員・保護司・学校評議員・区長）との連携や協力要請

③緊急事項に対する学校対応の方針づくり

この会議をあま市における学校関係者会議として位置づけています。

・「緊急ケース会議」のメンバー

緊急性を要する問題が起きた学校の教職員（校長・教頭・教務・校務・養護教諭・スクールカウンセラーなど校長が参加した方がよいと考える教職員）

・校長の要請に応じて教育長が招集をかけるメンバー

(1)あま市教育委員会（指導主事など）

(2)あま市教育相談センター（臨床心理士・教育相談員など）

・会議の必要に応じて招集するメンバー

(3)海部児童・障害者相談センター

(4)警察関係者

(5)学校関係者（民生児童委員・主任児童委員・保護司・学校評議員）

(6)学校医・学校歯科医・あま市民病院

(7)あま市役所関係各課

※ 緊急を要する問題が発生した場合に、教育委員会・学校・地域社会が一体となって迅速に対応できる体制を確立したことは画期的で、地域に密着した学校づくりを進めることができました。

■小中学校施設整備事業

安全・安心で快適な教育環境を整えるために次の整備工事を行いました。

○扇風機設置工事（平成23年度・24年度継続事業）

夏場の猛暑に備え、未設置の七宝地区と甚目寺地区の小中学校の普通教室に4台ずつの壁掛型扇風機を設置しました。この工事は平成24年2月27日に着し、24年6月29日に完了しました。

・事業内容 1,008台の扇風機を設置

・事業費 18,595,500円

※ この設置工事を実施することにより、学校間の扇風機設置に対する均衡がとれ、教育環境の整備を進めることができました。

○美和小学校防火扉取替工事（学校施設環境改善交付金事業）

校舎階段部分に設置してある防火扉が経年の劣化により誤作動等不具合が生じていました。校舎の建築基準法により設置された設備であり、昭和42年度の建築以降、法改正により現在では既存不適格となっているため、現行法令を遵守した設備にするため取替工事を行い、施設整備に努めました。

・事業内容 非常用防火扉の取替工事

・事業費 11,550,000円

※ この改修工事を実施したことにより、児童が安全安心に使用できる校舎の整備を進めることができました。

○エレベーター改修工事（学校施設環境改善交付金事業）

設置後30年以上が経過する給食用昇降機は、部品の消耗劣化が進み誤作動の可能性もあるため、事故が発生する前に改修し施設整備に努めました。

①七宝小学校

- ・事業内容 エレベーター改修工事
- ・事業費 17,434,200円

②七宝北中学校

- ・事業内容 エレベーター改修工事
- ・事業費 17,640,000円

※ この改修工事を実施したことにより、安全・安心な学校の整備を進めることができました。

○碓目寺中学校体育館屋根等改修工事

体育館屋根が錆び、天井部の雨漏り及び部材の剥落が起こったため屋根の防水工事を実施し施設整備に努めました。

- ・事業内容 屋根防水工事
- ・事業費 38,535,000円

※ この改修工事を実施したことにより、防水効果の改善、耐久性の向上等の整備を進めることができました。

○伊福小学校公共下水道接続工事（学校施設環境改善交付金事業）

伊福小学校地区は、平成22年度より公共下水道の供用開始区域となっているため、下水道への接続工事を行いました。

- ・事業内容 公共下水道への接続工事
- ・事業費 35,175,000円

※ この接続工事を実施したことにより、環境配慮及び衛生的な学校の整備を進めることができました。

○美和中学校柔道場改修工事

平成2年度に建設された柔剣道場の柔道場の畳は、設置後20年程度経過しているため老朽化が著しく、畳が傷み軟弱になり畳との間に隙間が生じ怪我の危険性が高くなっているため畳の入替を行いました。

- ・事業内容 柔道場の畳入れ替え
- ・事業費 4,270,350円

※ この改修工事を実施したことにより、安全・安心な授業及び部活動の実施に向けた整備を進めることができました。

○伊福小学校放送設備改修工事

校舎放送設備は昭和49年度、体育館音響設備は昭和51年度に設置され修繕を繰り返して使用してきましたが、現在では交換する部品もない状況であるため全面的に改修しました。

- ・事業内容 AV調整卓、デジタルミキシング取替工事
- ・事業費 6,709,500円

※ この改修工事を実施したことにより、放送設備の整備を進めることができました。

○プール改修工事

プールの塗装が経年劣化し防水効果が低下しているため、防水塗装を実施し施設整備に努めました。

①七宝中学校

- ・事業内容 プール改修工事
- ・事業費 30,555,000円

②七宝北中学校

- ・事業内容 南校舎外壁・屋上防水及びプール改修等工事
- ・事業費 40,845,000円

※ この改修工事を実施したことにより、プール及び屋上の防水効果の改善、耐久性の向上等の整備を進めることができました。

○正則小学校校舎庇改修工事（学校施設環境改善交付金事業）

校舎の老朽化に伴い、屋上庇部分の防水シートが劣化し、先端のモルタルが剥離落下したため、建物の腐食の進行を防ぐための防水改修と外壁の改修をするなど施設整備に努めました。

- ・事業内容 庇部分の防水改修と外壁改修工事
- ・事業費 37,485,000円

※ この改修工事を実施したことにより、校舎庇部分の改善や施設の耐久性の向上、児童の安全性確保に向けた整備を進めることができました。

(2) 生涯学習課

■社会教育事業

市民の自発的な学習意欲を喚起するとともに、学習の機会や場を提供しました。

○社会教育事業

下記のとおり市民大学講座を開催し、多くの参加を得ました。

七宝公民館

| 講座名 | 対象 | 回数 | 定員 | 受講者数 | 申込者数 |
|--------|----|----|-----|------|------|
| 市民大学講座 | 一般 | 6回 | 30名 | 79名 | 83名 |

美和公民館

| 講座名 | 対象 | 回数 | 定員 | 受講者数 | 申込者数 |
|--------|----|----|-----|------|------|
| 市民大学講座 | 一般 | 6回 | 25名 | 25名 | 46名 |

※ 市民大学講座を通じて、幅広い知識を学ぶことができました。また、市民と市民の繋がりを深めることができました。

■公民館事業

市民の学習ニーズにあった学習の機会や場を提供し、知識や趣味を広げるきっかけ作りとしました。

○親子ふれあい講座

下記のとおり小学生の親子対象の講座を開催し、共通の話題作りの機会としま

した。
七宝公民館

| 講座名 | 対象 | 回数 | 定員 | 受講者数 | 申込者数 |
|--------------|----|----|-----|----------|----------|
| 親子アート講座 | 親子 | 1回 | 18組 | 14組(24名) | 14組(24名) |
| 親子ファンクダンス講座① | 親子 | 1回 | 18組 | 6組(10名) | 6組(10名) |
| 親子ファンクダンス講座② | 親子 | 1回 | 18組 | 20組(32名) | 20組(32名) |
| 親子パン講座① | 親子 | 1回 | 12組 | 11組(22名) | 11組(22名) |
| 親子パン講座② | 親子 | 1回 | 12組 | 11組(22名) | 11組(22名) |
| 親子お菓子作り講座① | 親子 | 1回 | 18組 | 12組(22名) | 12組(22名) |
| 親子お菓子作り講座② | 親子 | 1回 | 18組 | 13組(26名) | 13組(26名) |
| 親子英会話講座 | 親子 | 1回 | 18組 | 7組(13名) | 7組(13名) |
| 親子フラワー講座 | 親子 | 1回 | 18組 | 5組(10名) | 5組(10名) |

○公民館講座

下記のとおり各種講座等を開催し、市民が知識や趣味を広げる機会や場を提供しました。

七宝公民館

| 講座名 | 対象 | 回数 | 定員 | 受講者数 | 申込者数 |
|--------------------------------|-------|-----|-----|------|------|
| パン作り教室① | 一般 | 5回 | 36名 | 36名 | 57名 |
| パン作り教室② | 一般 | 5回 | 36名 | 36名 | 42名 |
| 骨盤エクササイズ | 一般 | 5回 | 25名 | 25名 | 65名 |
| 布を使った小物作り | 一般 | 4回 | 20名 | 17名 | 17名 |
| 楽しく学ぶ英会話レッスン (気軽に英語に親しむクラス) | 中学生以上 | 5回 | 15名 | 15名 | 15名 |
| 身体のバランスを整えましよう | 一般 | 5回 | 30名 | 28名 | 30名 |
| 楽しいマクラメ | 一般 | 6回 | 30名 | 9名 | 10名 |
| クリスマスケーキ作り(託児付) | 一般 | 1回 | 36名 | 36名 | 64名 |
| ワード初級 | 一般 | 6回 | 15名 | 15名 | 22名 |
| ワード中級 | 一般 | 10回 | 15名 | 15名 | 19名 |
| エクセル初級 | 一般 | 6回 | 15名 | 15名 | 21名 |
| エクセル中級 | 一般 | 10回 | 15名 | 15名 | 20名 |

美和公民館

| 講座名 | 対象 | 回数 | 定員 | 受講者数 | 申込者数 |
|----------------------------|-------|----|-----|------|------|
| おいしいケーキ&スイーツと紅茶の講座 | 一般 | 5回 | 24名 | 24名 | 81名 |
| バレトン | 一般 | 5回 | 30名 | 30名 | 53名 |
| やさしいハングル入門講座2 | 一般 | 5回 | 20名 | 20名 | 46名 |
| 楽しく学ぶ英会話レッスン (英会話中級クラス) | 中学生以上 | 5回 | 15名 | 10名 | 10名 |
| かわいい飾り巻き寿司とお寿司ケーキ | 一般 | 1回 | 24名 | 24名 | 32名 |
| 楽しくはじめよう！フィッシング講座 | 一般 | 3回 | 15名 | 14名 | 15名 |
| 野菜たっぷりカフェごはん&スイーツ(託児付) | 一般 | 5回 | 24名 | 22名 | 54名 |
| スタンドグラスでランプを作ろう！ | 一般 | 5回 | 20名 | 11名 | 12名 |

甚目寺公民館

| 講座名 | 対象 | 回数 | 定員 | 受講者数 | 申込者数 |
|----------------------------|-------|----|-----|------|------|
| デジタルカメラ入門 ~撮る・見る・楽しむ~ | 一般 | 3回 | 30名 | 22名 | 22名 |
| ゆかた着付け教室(託児付) | 女性 | 1回 | 25名 | 16名 | 16名 |
| 子ども理科教室 | 小3~小6 | 1回 | 10名 | 10名 | 19名 |
| ちょっと変わったレザークラフト講座 | 一般 | 5回 | 10名 | 10名 | 12名 |
| 楽しく学ぶ英会話レッスン (英会話初級クラス) | 中学生以上 | 5回 | 15名 | 14名 | 14名 |
| 子ども将棋教室 | 小学生以上 | 2回 | — | 8名 | 8名 |
| はじめよう！テディベアメイキング(託児付) | 一般 | 6回 | 10名 | 9名 | 9名 |
| 着物の着付けとマナー(託児付) | 女性 | 5回 | 25名 | 21名 | 21名 |
| 食品サンプル作り① | 一般 | 1回 | 15名 | 9名 | 9名 |
| 食品サンプル作り② | 一般 | 1回 | 15名 | 3名 | 3名 |
| 骨盤エクササイズ | 一般 | 5回 | 20名 | 20名 | 72名 |
| 冬休み子どもパソコン教室 | 小4~小6 | 1回 | 10名 | 4名 | 4名 |
| パソコン入門 | 一般 | 3回 | 18名 | 18名 | 18名 |
| エクセル入門 | 一般 | 3回 | 18名 | 18名 | 24名 |

○公演・イベント・図書室事業

下記のとおり親子対象の事業を実施し、親子のふれあいの場を提供しました。

| 事業名 | 事業内容 | 開催日時 | 会場 | 入場者 |
|-----------|--|--------------------------------------|----------------|------|
| 親子ふれあい映画会 | 「ハッピーフィート2 踊るペンギンレスキュー隊」上映 | 平成24年8月25日(土) 午後2時～ | 七宝公民館 講堂 | 51名 |
| | 「スマーフ」上映 | 平成24年5月20日(日) 午前10時30分～ | 甚目寺公民館 大ホール | 90名 |
| 親子人形劇観劇会 | 人形劇団「むすび座」公演 ・「花咲かじいさん」 ・「えっさかめいさじゅうこひき」 | 平成25年2月9日(土) 午前10時30分～ | 甚目寺公民館 講義室 | 120名 |
| 親子ふれあい音楽会 | 「あま室内アンサンブル」公演 ・「さんぽ」、「君をのせて」、 「サウンドオブミュージックメドレー」他 | 平成25年2月23日(土) 午後2時～ | 美和文化会館大ホール | 428名 |
| 図書室事業 | 読み聞かせ | 毎週土曜日(第2除く) 39回/年 午後2時～午後2時30分 | 甚目寺公民館 図書室 | 166名 |
| | 紙芝居 | 第2土曜日 12回/年 午後2時～午後2時30分 | 甚目寺公民館 図書室 | 82名 |

○パソコン相談室

・甚目寺公民館

パソコン講習のフォローアップ及びパソコンに関する質問への回答など、パソコンをより身近な道具として、操作に慣れていただくよう実施しました。

| | |
|----------------|-----|
| 実施回数 | 23回 |
| 五条高等学校パソコン部委託分 | 11回 |
| 甚目寺パソコンクラブ委託分 | 12回 |

・七宝公民館

パソコン講習のフォローアップ及びパソコンに関する質問への回答など、パソコンをより身近な道具として、操作に慣れていただくよう実施しました。

現在七宝地区の住民の方3名のボランティアの協力により実施しています。

| | |
|------|-----|
| 実施回数 | 24回 |
|------|-----|

※ 講座を通じて自分の趣味の充実を図り、仲間作りができました。また親子対象の事業では、共通の話題ができ、親子のふれあいを深めることができました。

■成人式事業

成人の日を迎えたことをお祝いし、これから一層成長されることを願って、市と市教育委員会の共催により実施しました。

- ・日時及び場所：平成25年1月13日(日)＜第2日曜日＞
午前10時～午前11時、甚目寺公民館大ホール
午前10時～午前11時、美和文化会館大ホール
- ・行事の内容：式典、成人式実行委員会企画
- ・記念品：ミニフリーアルバム

- ・新 成 人：平成4年4月2日～平成5年4月1日生れ
- ・対 象 者：市内795人(男性409人、女性386人)
市外参加希望者69人(男性40人、女性29人)
- ・参 加 者：618人(男性332人、女性286人) <参加率約71.5%>
※市外参加希望者を含む

※ 2会場での開催でしたが、新成人の代表者により、受付、司会等が行われ、感動的な式典となりました。

■家庭教育推進事業

都市化や核家族化が進み、母親は身近な子育てモデルもなく、育児不安やストレスを抱えています。親同士のつながりや子育てについての知識を広げることができるよう、幼児期家庭教育講座を開催しました。

○幼児期家庭教育講座

| 講 座 名 | 開催場所 | 受講者数 |
|--|---------------|----------|
| 子育てママのリフレッシュ講座 ～たまにはネイルでプチおしゃれ～ 母の日バージョン | 甚目寺公民館 | 8名 |
| 育メン講座 ～パパといっしょにクッキング～ | 美和公民館 | 10組(35名) |
| | 七宝公民館 | 5組(15名) |
| お医者さんと話そう ～夏にかかりやすい病気やワクチンについて(乳幼児編)～ | 七宝公民館 | 13名 |
| 親子で野菜作りPART6 | あま市二ツ寺地内 | 20組(63名) |
| ドロンコ遊びをしよう | あま市二ツ寺地内 | 26組(75名) |
| 新・ママ&パパ&ベビーの地域デビュー | 甚目寺公民館 | 4組(8名) |
| | 七宝公民館 | 5組(10名) |
| | 正則コミュニティーセンター | 5組(10名) |
| 赤ちゃんと一緒にベビーダンス | 甚目寺公民館 | 14組(28名) |
| | 美和公民館 | 10組(20名) |
| | 七宝児童館 | 10組(20名) |
| 育メン講座 ～パパの調理実習&ママといっしょにクッキング～ | 美和公民館 | 8組(27名) |
| おやこであ・そ・ぼ | 甚目寺総合福祉会館 | 16組(35名) |
| 開催! 芋ほり祭り | あま市二ツ寺地内 | 19組(54名) |
| 消防署へ行こう! ～消防署見学と応急手当～ | 海部東部消防署 | 15組(47名) |

| | | |
|----------------------|--------|----------|
| 食育講座 ～クリスマスを食べよう～ | 美和公民館 | 10組(20名) |
| | 七宝公民館 | 9組(19名) |
| 怒りのコントロール | 甚目寺公民館 | 24名 |

○家庭教育学級

急速な社会情勢の変化により、子どもたちを取り巻く家庭環境は大きく変化しつつあり、家庭教育のあり方が重要課題となっています。各小中学校において家庭教育学級を開催し、小中学校PTA関係者が一堂に会し、共に家庭教育について考える機会を提供しました。

【各小中学校委託】45事業(小学校12校、中学校5校)

○「子育てサロン」

七宝公民館和室・甚目寺公民館談話室に「飲食ができるスペース」、「子どもを遊ばせることができるスペース」をつくり、子どもや保護者たちが集える場を提供しました。

・七宝公民館 (8・12月を除く月2日間 午前10時～午後0時30分)
開催日数 延べ20日
参加者数 延べ114組234人

・甚目寺公民館 (8・12月を除く月3日間 午前11時～午後2時)
開催日数 延べ30日
参加者数 延べ167組374人

※ 参加者が子育ての知識を得るとともに、親同士のつながりを持つことができ、今後の子育ての問題解決の糸口となりました。

■青少年健全育成推進事業

青少年が心身ともにたくましく成長することを願い、非行防止や保護など、青少年の健全な育成を図るため、下記の事業を実施しました。

○あま市青少年健全育成推進協議会総会

平成24年7月3日(火) 午後2時～ あま市役所本庁舎 大ホール

○夏季街頭パトロール活動

平成24年7月20日(金)～8月29日(水)の間において、市内小中学校教員、PTA役員と協力して市内の街頭パトロールを行いました。

○あま市サマーフェスティバル夜間街頭パトロール活動

平成24年8月4日(土) 美和グラウンド周辺の街頭パトロールを行いました。

○街頭啓発活動

平成24年10月27日(土)「あま市安全安心大会」、同年11月23日(金・祝)「あまつり」、同年11月25日(日)「あま市オータムフェスタ」にて啓発資

材（野菜の種等）の配布などを行いました。

○冬季街頭パトロール活動

平成24年12月21日（金）～平成25年1月7日（月）の間において、市内小中学校教員、PTA役員と協力して市内の街頭パトロールを行いました。

○中学校卒業式前夜パトロール活動

市内各中学校卒業式（3月7日）の前夜の平成25年3月6日（水）、校内及び会場周辺における街頭パトロールを行いました。

※ いじめ問題に悩む子ども、非行に走る若者など困難な状況を抱える青少年を支援し、子ども・若者の自立を育むべく多様な交流の機会ができました。そして、大人として青少年の健全育成のためにどのような事ができるかを考える契機となりました。

■人権教育推進事業

市民一人ひとりの人権が尊重される社会を実現するために、市民が参加しやすい講演会を実施し、人権に対する正しい理解や行動を育む教育・啓発活動の推進を図りました。

○海部地区人権教育講演会（共催：あま市小中学校人権教育研究会）

人権問題に係る正しい認識と理解を深めることを目的として、他市町村の方へも広く参加を呼びかけ、実施しました。

- ・日 時：平成24年8月3日（金） 午後2時～午後4時
- ・場 所：甚目寺公民館大ホール
- ・講 師：辺 真一 氏
ジャーナリスト／コリア・レポート編集長
- ・演 題：「心の国際化をめざして ～人権感覚豊富な社会実現を～」
- ・参加者：672人（対象／市内小中学校教職員、PTA関係者、海部地区小中学校教職員他）

※ 講演を通じて、多くの方が人権に対する正しい理解を得ることができました。

■文化振興事業

市民が芸術や文化にふれる機会や芸術・文化活動の発表の機会の充実を図りました。

○あま市文化祭（あま市文化協会主催）

あま市文化祭は、あま市文化協会が主催し、あま市の補助金を活用して、市民及び文化・芸能団体に発表の機会を提供するとともに、文化・芸能に係る資質の向上を促し、市民のより豊かな生活の実現を目指し開催しました。

- ・作品展示、生花展示、芸能発表会、茶会
日時：平成24年11月3日（土）、4日（日）午前10時～午後4時
会 場：甚目寺公民館、美和文化会館、七宝公民館
参加者数：作品展示 文化協会47団体724名、一般参加48名
芸能発表会 文化協会54団体637名、一般参加4団体89名
- ・囲碁大会
日 時：平成24年11月11日（日）午前9時～午後4時

会 場：甚目寺公民館
 参加者数：文化協会 3 団体 60 名、一般参加 3 名

・将棋大会

日 時：平成 24 年 1 月 25 日（日） 午前 9 時～午後 4 時

会 場：七宝公民館

参加者数：文化協会 3 団体 55 名、一般参加 3 名

※ 参加者にとっては発表の場、来場者にとっては文化活動に触れる機会をより多く提供できたことは文化振興の一助となりました。

■歴史民俗資料館及び文化財保護啓発事業

市の誇るべき伝統文化を後世に継承していくため、下之森オコワ祭と木田八劔社湯の花神事の 2 件を市の無形民俗文化財に指定しました。また、文化財への理解と保護意識の普及と向上を目指し、歴史民俗資料館ほか、市内各地にて各種事業を実施しました。

○文化財（無形民俗文化財）指定

| 物 件 名 | 管理（運営）者 | 実施日 | 実施場所 |
|------------|----------|-------------|---------|
| 下之森オコワ祭 | 七宝町下之森地区 | 2 月 11 日 | 下之森八幡神社 |
| 木田八劔社湯の花神事 | 木田地区 | 10 月第 2 日曜日 | 木田八劔社 |

○企画展

下記のとおり、美和歴史民俗資料館にて企画展を実施、市内外より多くの来館者があり、広く市の歴史文化を PR することができました。

| 企 画 展 名 | 開 催 場 所 | 期 間 | 入場者数 |
|----------------------------|-----------|------------|-----------|
| 第 22 回ときのきねんび展 | 美和歴史民俗資料館 | 5/28～6/30 | 約 2,600 名 |
| ちょっと昔のあま市展 | 美和歴史民俗資料館 | 8 月～11 月 | 約 600 名 |
| あま市の芸能とまつり展 | 美和歴史民俗資料館 | 10/28～12/2 | 約 600 名 |
| 小六頭彰碑建つ ～蜂須賀小六正勝公頭彰碑由来～ | 美和歴史民俗資料館 | 2/23～3/31 | 約 450 名 |

○歴史散策会および見学会

市内各地で執り行われる祭事、史跡や文化財をめぐる散策により、市の歴史文化を認識する機会を提供しました。

| 期 日 | コース | 参加者数 |
|------|-----------------------|---------|
| 4/15 | 蜂須賀蓮華寺二十五菩薩来迎会見学と周辺散策 | 延 140 名 |
| 5/8 | 下萱津フジの花見学と周辺散策 | |
| 6/10 | 津島街道走破 その 1（新川橋～木田駅） | |
| 8/21 | 萱津神社香の物祭見学と上萱津周辺散策 | |

| | | |
|-------|----------------------|--|
| 10/14 | 木田八劔社湯の花神事見学と周辺散策 | |
| 11/20 | 津島街道走破 その2 (木田駅～津島駅) | |
| 2/11 | 下之森八幡神社オコワ祭見学と周辺散策 | |

○水文化継承事業（エコきっず調査隊）

地元の川や生物を調べることにより、あま市の水文化（田んぼ）の役割と地域と水との関わり合いを知る機会を提供しました。対象は小学生。

| 期 日 | 内 容 | 参加者数 |
|------|----------------------------------|--------|
| 7/7 | 田んぼの学校 (宮田用水土地改良区の協力) | 延 60 名 |
| 7/14 | 身近な河川の水質調査 | |
| 8/3 | 木曾川の生き物調査 (国土交通省木曾川下流事務所の協力) | |
| 8/17 | エコきっずサミット参加 (会場：美和情報ふれあいセンター) | |

○講演会および文化財講座など

市内、海部地域の歴史文化に特化した講演会を開催し、当地域の知られざる歴史文化を多くの市民に認識していただくことができました。

| 期 日 | 演題／講師 | 参加者数 |
|--------|---|---------|
| 5月～3月 | 歴史文化カタログマイ (7回) <ul style="list-style-type: none"> ・第1回：「古時計の魅力」 講師：宮崎 照夫 氏 ・第2回：「拓本から見るあま市の歴史」 講師：松井 誠 氏 ・第3回：「あま市ものしり検定とは？」 講師：資料館職員 ・第4回：「香の物祭について知ろう」 講師：資料館職員 ・第5回：「歴女が語る！歴史の魅力とは」 講師：永田 さきこ 氏 ・第6回：「歴士だって語る！加藤清正について」 講師：横井 孝彦 氏 ・第7回：「セピア色のあま市を語る」 講師：資料館職員 | 延 78 名 |
| 11月～2月 | 歴史講演会「萱津を説く」(5回) <ul style="list-style-type: none"> ・第1回： 古代の萱津「ヤマトタケルと萱津」 講師：竹田 繁良 氏 ・第2回： 中世の萱津「富田荘絵図に見る萱津」 講師：蔭山 誠一 氏 ・第3回： 戦国期の萱津「萱津合戦と赤林氏」 講師：加藤 周二 氏 ・第4回： 江戸時代の萱津「萱津光明寺における 遊行上人お札配りについて」 講師：山本 祐子 氏 ・第5回： 近世・近代の萱津「教育・文化から見た萱津」 講師：浅井 厚視 氏 | 延 208 名 |

| | | |
|------|---|-------|
| 2/18 | 海部歴史研究会講演会（主催：津島市教育委員会） 「海部地域の地震災害の歴史に学ぶ」 講師 森 勇一 氏、西澤 泰彦 氏 | 270 名 |
|------|---|-------|

○体験講座

下記のとおり各種講座等を開催し、多くの参加を得ました。

| 期 日 | 演題／講師 | 受講者数 |
|--------|----------------------------|---------|
| 6月～12月 | 古文書解読講座（11回） 講師 藤井 智鶴 氏 | 延 180 名 |
| 12/15 | しめ縄教室 講師 竹田 武夫 氏 | 20 名 |
| 2月～3月 | 梵字を学ぶ（4回） 講師 坂野 元昭 氏 | 延 80 名 |

○出前授業

歴史民俗資料館の収蔵品を資料として、昔のくらしと生活道具について出前授業を実施しました。子どもたちに当地域のかつての暮らしぶりを伝え、考えてもらうきっかけを作りました。

- ・実施校：市内全小学校
- ・対 象：小学3年生
- ・資 料：蚊帳、箱膳、ひのし、柱時計、焙烙、わらぐつ、酒徳利、尋常小学校教科書など16点ほど

○検定事業

検定を通してあま市の歴史文化を多くの人々に、主体的に学んでもらう機会を提供しました。

（1）第1回あま市ものしりジュニア検定

- ・実行委員長 浅井厚視氏
- ・日 時：平成25年2月9日（土） 午前10時～
- ・会 場：七宝公民館、甚目寺公民館、美和情報ふれあいセンター
- ・受検者：102名
- ・合格者：42名（合格率約41.2%）

（2）第3回あま市ものしり検定（初級編）

- ・実行委員長 浅井厚視氏
- ・日 時：平成25年2月24日（日） 午後2時～
- ・会 場：美和文化会館
- ・受検者：19名
- ・合格者：19名（合格率100%）
- ・備 考：2月11日に七宝焼アートヴィレッジ交流ホールにおいて、対策講習会を実施、参加者16名

○文化財保護事業

第59回文化財防火デー・甚目寺観音消防訓練

- ・日 時：平成25年1月25日(金) 午前10時～午前11時
- ・参加者：海部東部消防署 21名、市消防団 6名、甚目寺観音自衛団 9名
- ・その他：甚目寺小学校 4年生が訓練の様子を見学した後、消防車両の説明を受けました。

○刊行物

あま市の文化財や歴史を紹介するため、下記の刊行物を発行し、地域の魅力について情報を発信しました。

| | タイトル | 内 容 | 備 考 |
|-----|-----------------------|---|-----------------------|
| 〈1〉 | あま市と戦国武将 | 蜂須賀小六正勝、福島正則、豊臣秀次を中心にその事跡はじめ、当地域に伝わる話など | A4版、27頁 1,000部 |
| 〈2〉 | あま市文化財マップ (改訂) | 指定文化財について追加及び訂正 | A4版、8頁 1,000部、4色刷り |
| 〈3〉 | 資料館だより ニュースレター003号 | 美和資料館事業報告、つまみぐい郷土史など | A4版、6頁 2,000部 |

※ 歴史・文化・伝統の学習の場を設けることにより、郷土への理解と郷土愛を育む契機となりました。また、消防訓練の実施により、文化財保護意識の高揚の一助となりました。

■社会教育施設整備事業

生涯学習活動拠点となる公民館の整備・充実を図るために次の整備工事を実施しました。

○七宝公民館機械室修繕工事

市民に安全安心で快適な生涯学習活動環境を提供できるよう、七宝公民館の機械室内部の天井、壁に残存していたアスベストを除去しました。

- ・事業内容 機械室内の天井、壁に残存していたアスベストの除去
- ・事業費 3,241,350円

※ この修繕工事を実施したことにより、安全安心な生涯学習活動環境の提供を図ることができました。

○美和公民館自家発電設備設置工事

既存の自家発電設備は昭和53年度の開館当時の設備であり、老朽化が進んでいました。また、既存設備は消火ポンプの動力源のみへ電力供給し、館内の照明設備への供給ができなかったため、停電時における公民館利用者の安全確保を図るために自家発電設備の更新を実施しました。

- ・事業内容 自家発電設備の更新及び配線工事
- ・事業費 10,426,500円

※ この設置工事を実施したことにより、停電時でも安定した電力を得て、公民館利用者の安全確保を図ることができました。

○美和公民館屋根改修工事

経年劣化により雨漏りが発生し、施設の利用及び管理に支障が生じていたため屋根部分の改修工事を実施しました。

- ・事業内容 公民館大屋根、雨樋、階段屋根、玄関アプローチ屋根の防水工事
- ・事業費 14,217,000円

※ この改修工事を実施したことにより、安全安心な生涯学習活動環境の提供を図ることができました。

○美和公民館研修室及び会議室クロス等修繕工事

公民館利用者に快適な施設を提供できるよう、損傷が著しい、研修室及び会議室のクロス等の修繕を実施しました。また、塗装の剥離が著しい箇所の塗替えを実施しました。

- ・事業内容 研修室及び会議室の内壁クロス、床面の貼替、会議室間仕切の修繕、非常階段等の塗替
- ・事業費 5,701,500円

※ この修繕工事を実施したことにより、快適な生涯学習活動環境の提供を図ることができました。

○甚目寺公民館エレベーター設備更新工事

既存のエレベーターは昭和59年度の開館当時の設備で、交換部品の供給停止により、故障発生の際には運転停止となる恐れが生じていたため設備の更新工事を実施しました。

- ・事業内容 エレベーターの更新工事
- ・事業費 12,495,000円

※ この更新工事を実施したことにより、エレベーター利用時における安全が確保でき、設備の機能維持を図ることができました。

○甚目寺公民館空調システム中央監視システム更新工事

既存の設備は昭和59年度の開館当時のものであり、交換部品の供給停止により、故障発生の際にはシステムが稼働不能となる恐れが生じていたためシステムの更新工事を実施しました。

- ・事業内容 中央監視装置機器の更新工事、中央監視装置配管・配線工事、空調リモートユニット更新工事
- ・事業費 35,700,000円

※ この更新工事を実施したことにより、甚目寺公民館における空調システムの安定した機能維持を図ることができました。

■スポーツ教室

市民のニーズにあった教室を開催し、継続的な運動に対するきっかけづくりとするとともに、より一層の健康増進・体力向上と心身の健全な発達をもって、明るく健康的な市民生活を提供することを目的として、各種スポーツ教室・講座事業を実施しました。

| 教室名 | 期間 | 実施場所 | 回数 | 対象 | 参加者数 | 内容 |
|------------------------|--|--------------|-----|-----------|------|--|
| 親子体操教室（前期） | 5月22日～ 7月10日 毎週火曜日 | 七宝 総合体育館 | 8回 | 親子 | 16組 | 親子と一緒に鉄棒・ マット運動・跳び箱 等を行い、楽しく運 動の基本を習得す る。 |
| 親子体操教室（後期） | 10月23日～ 12月11日 毎週火曜日 | 七宝 総合体育館 | 8回 | 親子 | 23組 | |
| 親子体操教室① | 6月5日～ 2月26日 隔週火曜日 | 甚目寺 総合体育館 | 15回 | 親子 | 24組 | |
| 親子体操教室② | 6月12日～ 3月5日 隔週火曜日 (16:00～17:00) | 甚目寺 総合体育館 | 15回 | 親子 | 25組 | |
| 親子体操教室③ | 6月12日～ 3月5日 隔週火曜日 (17:00～18:00) | 甚目寺 総合体育館 | 15回 | 親子 | 22組 | |
| エアロビクス教室（前期） | 6月5日～ 7月24日 毎週火曜日 | 七宝 総合体育館 | 8回 | 一般 | 24名 | ストレッチを中心に ウォーキングとステ ップ動作など、エア ロビクスの基礎を習 得する。 |
| エアロビクス教室（後期） | 10月30日～ 12月18日 毎週火曜日 | 七宝 総合体育館 | 8回 | 一般 | 18名 | |
| ヨガ教室（前期） | 6月8日～ 7月27日 毎週金曜日 | 七宝 総合体育館 | 8回 | 一般 | 30名 | ヨガの基本的な呼吸 法と基本ポーズを習 得する。 |
| ヨガ教室（後期） | 10月26日～ 12月14日 毎週金曜日 | 七宝 総合体育館 | 8回 | 一般 | 30名 | |
| ふれあいスポーツ ～子ども体育教室～① | 10月4日～ 11月29日 毎週木曜日 (16:00～17:00) | 甚目寺 総合体育館 | 8回 | 年少 | 10名 | 「運動の習熟」を主 眼に、子どもたちが 運動の日常化や身体 を動かす楽しさや喜 びを感じられること を目的とする。 |
| ふれあいスポーツ ～子ども体育教室～② | 10月4日～ 11月29日 毎週木曜日 (17:00～18:00) | 甚目寺 総合体育館 | 8回 | 年少 | 10名 | |
| フラダンス教室 | 10月21日～ 12月9日 毎週日曜日 | 七宝 総合体育館 | 8回 | 一般 | 21名 | フラダンスの基本的 な動きを中心に振り 付けを習得する。 |
| はつらつ健康教室 ～シニア運動教室～ | 10月4日～ 11月29日 毎週木曜日 | 甚目寺 総合体育館 | 8回 | 60歳 以上 | 10名 | 高齢者が自らの体 力・健康を自覚し、 自発的な介護予防に 向けた生活を送れる ことを目的とする。 |

| | | | | | | |
|------------------------------------|---------------------------|--------------|----|-----------|-----|--|
| 健康・体力づくり教室 ～総合体育館トレーニング室を利用しよう～ | 10月6日～ 12月15日 毎週土曜日 | 甚目寺 総合体育館 | 8回 | 中学生 以上 | 10名 | トレーニング室の設備を利用しながら、器具の使用方法・効果的なトレーニング方法を習得し、継続的な運動習慣を身につける。 |
| キッズエアロファンク教室 | 7月24日～ 8月8日 | 七宝 総合体育館 | 8回 | 小学生 | 21名 | ヒップポップの曲にあわせて楽しく踊ることでリズム感覚を養い、連動した動作を習得する。 |
| | 7月26日～ 8月24日 | 甚目寺 総合体育館 | 8回 | 小学生 | 28名 | |
| スナッグゴルフ教室 | 7月26日～ 8月10日 | 七宝 総合体育館 | 5回 | 小学生 | 8名 | 誰でも簡単にゴルフの基本を学べるスナッグゴルフを通じて、新しいスポーツへの関心を高める。 |
| | 7月25日～ 8月2日 | 甚目寺 総合体育館 | 5回 | 小学生 | 2名 | |

※ 各年齢層にあわせた教室を開催したことで、より多くの市民にスポーツや運動の機会を提供することができました。また、基礎的な教室を多く開催したことにより、スポーツ人口の裾野を広げ、市民の健康増進や体力向上に資することができました。

■スポーツ行事・大会

スポーツを通じた市民のふれあいや親睦、また、目的を持ったスポーツ活動や市民の更なる高次元の運動意欲を引き出すことにより、街の活性化とスポーツの振興を目指すことを目的として、各種体育事業を実施しました。

| 行事・大会名 | 期 日 | 曜日 | 実施場所 | 参加者数 | 内 容 |
|------------|--------|----|-----------------|----------------|--|
| わんぱく体操まつり | 5月20日 | 日 | 七宝 総合体育館 | 470名 | 市内の小学生を対象に卓球やストライクアウトなどスポーツラリーを体験してもらう。 |
| 市民ラジオ体操の集い | 7月22日 | 日 | 七宝焼 アートヴィレッジ | 885名 | 基本的な体操である「ラジオ体操」を広く親しんでもらい、市民の健康と親睦を図る。 |
| ニュースポーツ体験会 | 7月22日 | 日 | 七宝焼 アートヴィレッジ | 293名 | 一人1種目自分にあったスポーツにチャレンジしてもらう。 |
| 市民歩け歩け会 | 11月11日 | 日 | 日間賀島 | 120名 | あま市外にて、歩くことの楽しさを通じ、健康及び体力の保持・増進の意識を高め、継続を促すことを目的とする。 |
| 市民綱引き大会 | 12月9日 | 日 | 甚目寺 総合体育館 | 25チーム/ 250名 | チーム対抗で競い、仲間との絆や地域とのつながりを育みます。 |

| | | | | | |
|-----------|-------|---|-------------------|------|---|
| 市民走ろう歩こう会 | 1月27日 | 日 | 七宝 鷹居グラウンド | 570名 | 歩くこと・走ることの楽しさを通じ、健康及び体力の保持・増進の意識を高め、継続を促すことを目的とする。(距離は2km・5km) ※前日の雪が路面に残っていたため、『歩くこと』のみを実施。 |
| 市民歩け歩け会 | 3月10日 | 日 | 美和グラウンド 及びその周辺 | 110名 | あま市内にて、歩くことの楽しさを通じ、健康及び体力の保持・増進の意識を高め、継続を促すことを目的とする。 (距離は4km) |

※ 市民に広くスポーツに親しんでいただくことで、より一層親睦が深まり、あま市としての地域のつながりや街の活性化に資することができました。

■その他スポーツ事業

○夏休みプール開放事業

小中学校の夏休み期間中、児童生徒及び付添いの保護者を対象に、市内の民間プールを活用したプール開放事業を実施しました。

| 事業名 | 期日 | 曜日 | 実施場所 | 参加者数 | 内容 |
|------------|--------------------------|----|----------|-------|---|
| 夏休みプール開放事業 | 8月3日・ 10日・17 日・24日 | 金 | ルネサンス甚目寺 | 延230名 | 小中学校の夏休み期間中、児童生徒の体力向上と健康増進を図るため、市内在住の小中学生を対象に市内の民間プールを活用して実施。 |

※ プール開放事業を実施したことにより、児童生徒の体力向上と健康増進に資することができました。

○総合型地域スポーツクラブ設立準備事業

設立準備委員会を設置し、あま市で初めてとなる総合型地域スポーツクラブの設立に向けた準備活動を始めました。

| 会議 | 開催日 | 審議内容 |
|-------|-------------|---|
| 第1回 | 平成24年9月2日 | ・委員長及び副委員長の選出について ・平成24年度事業計画(案)について ・平成24年度予算(案)について |
| 第2回 | 平成24年11月18日 | ・今後の日程及び方向性について ・平成25年度事業計画(案)について ・平成25年度予算(案)について |
| 先進地視察 | 平成25年1月20日 | 視察先：ウィル大ロススポーツクラブ(丹羽郡大口町) |

| | | |
|-----|------------|--|
| 第3回 | 平成25年3月24日 | <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツクラブの名称及びキャッチフレーズについて ・スポーツクラブのロゴマークについて ・体験教室について |
|-----|------------|--|

※ 3回の設立準備委員会と先進地視察を実施し、総合型地域スポーツクラブの設立に向けた準備ができました。

■社会体育施設整備事業

市民が安全かつ快適にスポーツ活動を実施できるように体育施設に対し、次の整備工事を実施しました。

○七宝総合体育館事務所内中央監視盤等修繕工事

設備の老朽化により事務所内の中央監視盤パネルの画面表示が見づらく、施設管理に支障が生じていたため修繕工事を実施しました。また、経年劣化により故障していた1階会議室及び卓球室の空調機の更新工事を実施しました。

- ・事業内容 事務所内中央監視盤パネル修繕、1階会議室及び卓球室の空調機の更新
- ・事業費 5,691,000円

※ この修繕工事を実施したことにより、安全安心な施設管理を図ることができました。また、空調機の更新により、快適な施設環境の提供を図ることができました。

○基目寺総合体育館事務室等空調機修繕工事

経年劣化により機器の安定利用に支障が生じていた空調機器の更新工事を実施しました。

- ・事業内容 事務室、トレーニング室、談話室及び会議室の空調機の更新
- ・事業費 5,911,500円

※ この修繕工事を実施したことにより、快適な施設環境の提供を図ることができました。

○七宝鷹居グラウンド整備工事

長年の使用によりグラウンド表面が硬化し、また下層部の石がグラウンド表層部に出てきており、施設利用者が怪我をする危険性が高くなっていたため整備工事を実施しました。

- ・事業内容 グラウンド表層部の除石、土の補充、整地
- ・事業費 3,465,000円

※ この整備工事を実施したことにより、利用者が安全安心に施設を使用できるようになり、スポーツ環境の改善を図ることができました。

○美和グラウンド駐車場整備工事

寄附を受けた土地を美和グラウンド用の駐車場として利用できるよう、整備工事を実施しました。

- ・事業内容 擁壁工事、路盤工事、フェンス工事
- ・事業費 7,466,550円

※ この整備工事を実施したことにより、グラウンド利用者の利便性向上を図ることができました。

■美和文化会館事業

下記のとおり各種講座等を開催し、多くの参加を得ました。

| 事業名 | 開催日時 | 会場名 | 参加者数 |
|------------------|---------------------------|------------------|------|
| 中国語教室 | 4月14日(土) 10:00~11:30 | 事務所会議室 | 20名 |
| | 4月28日(土) 10:00~11:30 | アートスペースM | 15名 |
| | 5月12日(土) 10:00~11:30 | 事務所会議室 | 18名 |
| | 5月26日(土) 10:00~11:30 | アートスペースM | 17名 |
| | 6月9日(土) 10:00~11:30 | 事務所会議室 | 18名 |
| | 6月23日(土) 10:00~11:30 | アートスペースM | 17名 |
| | 7月14日(土) 10:00~11:30 | 多目的ホールA | 18名 |
| | 7月28日(土) 10:00~11:30 | 多目的ホールC | 17名 |
| | 9月8日(土) 10:00~11:30 | 多目的ホールC | 10名 |
| | 9月22日(土) 10:00~11:30 | 多目的ホールC | 12名 |
| ガーデニング教室 | 4月21日(土) 9:30~11:30 | アートスペースM ロビー | 36名 |
| | 11月17日(土) 9:30~11:30 | 多目的ホールA・B ロビー | 35名 |
| エンジョイカラオケ教室 | 5月11日(金) 14:00~16:00 | 多目的ホールA・B | 15名 |
| | 6月8日(金) 14:00~16:00 | 多目的ホールB・C | 21名 |
| | 7月21日(土) 14:00~16:00 | 多目的ホールB・C | 16名 |
| | 9月14日(金) 14:00~16:00 | 多目的ホールB・C | 24名 |
| | 10月12日(金) 14:00~16:00 | 多目的ホールB・C | 18名 |
| | 11月9日(金) 14:00~16:00 | 多目的ホールB・C | 21名 |
| 「ふれあいコンサート」津軽三味線 | 5月13日(日) 14:00~16:00 | 大ホール | 412名 |
| 美和のいいところ発見隊ハイキング | 5月19日(土) 9:00~12:00 | 文化会館ロビー | 11名 |
| | 9月15日(土) 13:30~15:30 | 文化会館ロビー | 9名 |
| 水彩画教室 | 6月24日(日) 13:30~16:00 | 多目的ホールA・B | 26名 |
| | 8月25日(土) 13:30~16:00 | 多目的ホールA・B | 26名 |
| | 10月8日(月・祝) 13:30~16:00 | 多目的ホールA・B | 20名 |

| | | | |
|-----------------|---------------------------------------|----------------|------|
| 愛知室内オーケストラ特別演奏会 | 6月16日(土) 14:00~16:00 | 大ホール | 473名 |
| 親子映画会(トイストーリー3) | 7月14日(土) 10:00~11:30 | 大ホール | 210名 |
| 手芸教室 | 7月27日(金) 13:30~15:30 | 多目的ホールA | 27名 |
| | 2月23日(土) 13:30~15:30 | 多目的ホールA | 9名 |
| 張濱二胡音楽会 | 10月20日(土) 14:00~16:00 | 大ホール | 365名 |
| あま市民美術展 | 11月14日(水)~ 11月24日(土) 9:00~17:00 | アートスペースM | 235名 |
| 親子天体観測教室 | 11月24日(土) 19:00~20:30 | アートスペースM 屋外 | 60名 |
| クリスマスジャズコンサート | 12月15日(土) 15:00~17:00 | 大ホール | 421名 |
| カラオケ発表会 | 2月8日(金) 13:30~16:30 | 大ホール | 25名 |

※ 講座を通じて、自分の趣味の充実を図り、仲間作りができました。

■美和図書館事業

企画展示の開催や各種講座・講演会、読み聞かせ会などを開催し、図書館利用の促進を図りました。

○企画展示

下記のとおり企画展を開催しました。

| 事業名 | 実施内容 | 期 間 | 会 場 |
|------|---|------------|---------------|
| 企画展示 | 「再会 竜神さま! (3 土人形の竜)」全97点展示 | 4/1~5/31 | 図書館内展示 ケース |
| | 「再会 竜神さま! (4 土鈴の竜)」全170点展示 | 6/1~7/31 | |
| | 「きりえと私」荒木史子氏(愛知きりえの会会員)の作品4点他小品5点を展示。 | 8/3~9/30 | |
| | 「和綴じ本のうつりかわり展」日本で最初の本、百万塔陀羅尼から江戸時代に発展した四つ目綴じまでの製本方法を豆本でたどる。 | 10/3~11/30 | |
| | 「再会 おろち君! (1 張子の蛇・蛇の絵馬)」張子全27点、絵馬15点展示 | 12/3~1/31 | |
| | 第92回大照コレクション郷土玩具展「再会おろち君! (2 木の蛇など)」木、竹、藁細工他54点、絵馬15点展示 | 2/1~3/31 | |

※ 企画展を開催したことにより来館者が文化に接するよい機会となりました。

○図書館事業

下記のとおり、各種講座等を開催し、多くの参加を得ました。

| 事業名 | 実施内容 | 回数 | 参加者 | 会場 |
|-----|------|----|-----|----|
|-----|------|----|-----|----|

| | | | | |
|-----------------|---|-------------|---------|-----------------|
| ちくちく手づくりの会 | 読み聞かせやブックトークの後に絵本やおはなしにでてくるキャラクター等を針と糸で手作りする。 | 3回 | 延55名 | 美和文化会館会議室 |
| 読書ラリー | 期間中の図書貸出利用が5回、8回に及んだ利用者に対し賞品を付与。 | 7/1~9/2 | | |
| 講演会 | 演題「美和の歴史散策あれこれ」 講師：片桐欣也 氏 | 1回 | 56名 | 美和文化会館多目的ホールB・C |
| 図書館探検 | 図書館の仕事や活用方法等を体験して、図書館を身近な存在にする。 ※小学4年生～中学3年生を対象 | 2回 | 延10名 | 美和図書館内 |
| 絵手紙教室 | 季節の野菜、果物、花等を画材にした絵手紙を作成。 講師：近藤喜奴子 氏 | 1回 | 20名 | 美和文化会館多目的ホールA |
| 宮沢賢治を聴く | オペラ、チェロ演奏をバックにした、宮沢賢治の詩の朗読会 | 1回 | 65名 | 美和文化会館ホワイエ |
| 伊藤秀男絵本原画展 | 津島市出身の絵本作家・伊藤秀男氏の絵本「ちからのたろう」の原画15点を展示 | 11/28~12/16 | | 美和図書館内フロアー |
| ブックリサイクル | 図書の有効活用を図るために、一般家庭で不用になった図書や当館所蔵の廃棄した雑誌をボランティアの協力を得て無償で提供。8割ほどが再利用された。 ※提供冊数：約1,000冊 | 1回 | 約150名 | 美和文化会館ロビー |
| きりえ教室 | 愛知きり絵の会会員・荒木史子氏の指導により、来年の干支「巳」をカレンダーに仕立てた。 | 1回 | 14名 | 美和文化会館多目的ホールB |
| 描いてみよう郷土玩具 | 郷土玩具の話聞いた後、クレヨン、水彩で郷土玩具を描いた。 講師：片桐欣也 氏 | 1回 | 18名 | 美和文化会館多目的ホールA |
| 講演会 | 講師：絵本作家・伊藤秀男氏（津島市出身） ※絵本を描き始めたきっかけや今まで描かれた作品について拝聴した。 | 1回 | 31名 | 美和文化会館多目的ホールA・B |
| | 講師：飯田治代氏 演題：「本とわたしと図書館と」 | 1回 | 27名 | 美和文化会館多目的ホールA |
| もこもこのおはなし会 | 絵本の読み聞かせ、わらべうた、紙芝居等 | 44回 | 延1,277名 | おはなしコーナー |
| グー・チョキ・パーのおはなし会 | 絵本の読み聞かせ、わらべうた、紙芝居、工作、お手玉あそび、手あそび等 | 15回 | 延428名 | おはなしコーナー他 |
| お楽しみおはなし会 | 絵本の読み聞かせ、紙芝居、わらべうた等 | 6回 | 延87名 | おはなしコーナー |

| | | | | |
|-----------------------|--|-----|---------|--------------|
| 出張読み聞かせ会(乳児・幼児対象) | 絵本の読み聞かせ、紙芝居、わらべうた | 12回 | 親子延191組 | 美和子育て支援センター |
| 出張読み聞かせ会(乳児・幼児対象) | 絵本の読み聞かせ、紙芝居、わらべうた、手遊び等 | 12回 | 親子延129組 | 美和児童館（集いの広場） |
| 出張読み聞かせ会 | 絵本の読み聞かせ、紙芝居、わらべうた、手遊び等 | 11回 | 園児延507名 | 篠田保育園 |
| | | 12回 | 園児延559名 | 正則保育園 |
| 出張読み聞かせ会・乳児健診 | 3・4ヶ月健診とBCG予防接種時の親子に対して読み聞かせとわらべうたを歌う。また、読み聞かせの重要性の説明や図書館等の利用案内を行った。 | 12回 | 親子延192組 | 美和保健センター |
| 出張読み聞かせ会・マタニティー教室 | 母親向けに、育児のための絵本の読み聞かせを実演し、その効用を説明した。 | 4回 | 延27名 | 美和保健センター |
| 図書館見学 | ・あま市立正則小学校2年生44名 ・諏訪幼稚園年長93名 ・あま市立篠田保育園年長40名 ・あま市立美和小学校2年生59名（2回） | 5回 | 延295名 | 美和図書館内 |
| 職場体験学習 | ・あま市立七宝中学校6名 ・あま市立美和中学校6名 ・あま市立甚目寺中学校4名 | 3回 | 16名 | 美和図書館内 |
| 「アフリカンフェスタinあま」協賛お話し会 | 「アフリカンフェスタinあま」の協賛による、お話し会を実施 | 2日間 | 延20名 | おはなしコーナー |

※ 各種講座・読み聞かせ等を通じて、親子のふれあいを深めることができました。

(3) 学校給食センター

■学校給食事業

学校給食センター課では、各小中学校や様々な機関と連携を図り、食育を推進しました。

○学校給食センター課主催事業 親子料理教室

給食で人気な献立や、家庭で簡単に作ることでできる料理を題材とした調理実習を通して、調理の楽しみを体験し、学校給食や食に対する理解を深めました。また、親子で調理をすることで、家庭での食に対する関心を高めるために、親子料理教室を開催しました。

| 事業名 | 場 所 | 開催日 | 受講者数 | 申込者数 |
|--------|-------|--------|--------|------|
| 親子料理教室 | 美和公民館 | 12月26日 | 11組27名 | 32組 |

※ 児童は料理作りを通して、料理をすることの楽しみを味わうことができました。

また、保護者と一緒に作るにより、家庭での食に対する興味も高めることができ、家族の一員としての意識を向上させることができました。

○学校における食に関する指導の実施

児童生徒の食への興味・関心を高め、食に関する知識の向上を目指し、栄養教諭・学校栄養職員が各学校にて、学級担任とTT授業をしたり、給食時間に給食を教材として指導をしました。また、毎月給食センターから献立表や給食だより、盛り付け図などを配布し、給食を通し食への関心を高めました。

※ 学校給食を考えている栄養教諭・学校栄養職員が直接話すことにより、児童生徒の食への興味・関心を高めることができました。また、各学級を巡回し、児童生徒が食べている状況を見たり、声をかけたりすることで現状を把握し、献立に取り入れることができました。

○学校における健康教育への参加

各学校の健康教育の取組に参加しました。

- ・学校保健委員会 七宝小学校、宝小学校、伊福小学校
- ・給食試食会 七宝小学校、宝小学校、伊福小学校、秋竹小学校、七宝中学校、美和小学校、正則小学校、篠田小学校、美和東小学校、美和中学校、甚目寺小学校、甚目寺南小学校、甚目寺東小学校、甚目寺中学校
- ・家庭教育学級 甚目寺南小学校、甚目寺東小学校

※ 栄養教諭・学校栄養職員が関わることで、食を話題として取り上げる機会が増え、児童生徒・教職員が食への関心を持つことができました。また、保護者の興味も高まり、家庭での食に対する関心も期待することができました。

○学校給食センター活動状況

| 開催日 | 行事名 |
|------------------|------------------|
| 4月3日(火) | 5月分献立検討会 |
| 4月11日(水)、13日(金) | 5月分物資選定委員会 |
| 5月2日(水) | 6月分献立検討会 |
| 5月17日(木)、18日(金) | 6月分物資選定委員会 |
| 6月1日(金) | 7月分献立検討会 |
| 6月14日(木)、15日(金) | 7月分物資選定委員会 |
| 6月28日(木) | 第1回学校給食センター運営委員会 |
| 7月3日(火) | 9月分献立検討会 |
| 8月1日(水)、2日(木) | 9月・2学期分物資選定委員会 |
| 9月4日(火) | 10月分献立検討会 |
| 9月13日(木)、14日(金) | 10月分物資選定委員会 |
| 10月2日(火) | 11月分献立検討会 |
| 10月16日(火)、17日(水) | 11月分物資選定委員会 |
| 11月1日(木) | 12月分献立検討会 |

| | |
|------------------|------------------|
| 11月14日(水)、15日(木) | 12月分物資選定委員会 |
| 11月29日(木) | 1月分献立検討会 |
| 12月13日(木)、14日(金) | 1月・3学期分物資選定委員会 |
| 12月20日(木) | 2月分献立検討会 |
| 1月15日(火)、16日(水) | 2月分物資選定委員会 |
| 2月1日(金) | 3月分献立検討会 |
| 2月14日(木)、15日(金) | 3月分物資選定委員会 |
| 2月25日(月) | 第2回学校給食センター運営委員会 |
| 3月1日(金) | 4月分献立検討会 |
| 3月14日(木)、15日(金) | 4月・1学期分物資選定委員会 |

■学校給食センター整備事業

安全・安心に学校給食を提供するために、次の整備工事を行いました。

○七宝学校給食センターボイラー入替工事

平成13年度の更新から11年が経過し、ボイラーの老朽劣化が著しいため、入替工事を行い、施設整備に努めました。

- ・事業内容 七宝学校給食センターボイラー入替工事
- ・事業費 12,390,000円

※ この入替工事を実施したことにより、安全・安心な学校給食を提供することができました。

○甚目寺学校給食センター食器・食缶等洗浄機更新工事

平成6年度の整備から18年が経過し、老朽劣化が著しいため、食器・食缶等洗浄機を更新しました。

- ・事業内容 甚目寺学校給食センター食器・食缶等洗浄機更新工事
- ・事業費 6,195,000円

※ この更新工事を実施したことにより、安全・安心な学校給食を提供することができました。

○七宝学校給食センター排水路浚渫工事

給食センターの南側の排水路に砂等が堆積し、排水機能が損なわれるため、浚渫工事を行いました。

- ・事業内容 七宝学校給食センター排水路浚渫工事
- ・事業費 391,650円

※ この浚渫工事を実施したことにより、衛生的にも良くなり、安全・安心な学校給食を提供することができました。

○甚目寺学校給食センター冷凍庫購入業務

食材を衛生的に、調理直前まで一時保管するために冷凍庫を購入しました。

- ・事業内容 甚目寺学校給食センター冷凍庫購入業務
- ・事業費 1,391,250円 (2台分)

※ この購入業務を実施したことにより、衛生的にも考慮し、安全・安心な学校給食を提供することができました。

7. 学識経験者による意見

| | |
|--------|----------------------|
| 学識経験者名 | 平尾 理（元佐織中学校長、あま市内在住） |
|--------|----------------------|

合併3年目を迎えたあま市の教育は着実にその歩を進め、平成24年4月に策定された「あま市教育立市プラン」はいよいよ具現化の速度を上げてきた。

一方、社会に目を向けると数年前のわが国の世相からは予測できない事件が目立つ。高齢者を狙った悪質極まる犯罪や、子ども・女性を対象にした猟奇的な事件等がそれである。かつて人々は正義と礼節を重んじ、地域には誇れる治安があったが、今は昔の感がある。加えて、不正や卑怯な振る舞いを非難し、とがめる風潮は確実に衰退している。

私たちは教育の持つ意味を今一度真剣に考える必要に迫られている。紛争地の識者たちは「平和をもたらすのは教育のみ」と声を揃え、斜陽化の国を蘇らせた為政者は「教育なしには未来はない」と説いた。彼らの叫びは、心ある人々への真摯な呼びかけであるとともに、教育こそが未来への極めて有効な投資であるとの訴えである。

以上のことをふまえ、「人・歴史・自然が綾なす セーフティー共創都市 “あま”」の実現を念頭に置いて、教育委員会の取り組みについて所感を述べ点検・評価としたい。

○学校教育について

第1は道德教育の充実である。世はまさにストレス社会であり、その一因は道德観念の低下にある。子どもたちの生活においてもストレスは無縁ではない。繰り返されるいじめや虐待による悲劇、依然として出口の見えない不登校の子どもたちの存在もこれに起因することが多い。特に、いじめはどの学校でも起こりうるという前提の下、断固として許さないという強い意志をすべての市民が持つべきである。その取り組みは形骸化されたものでなく、魂が込められた具体的な実践が求められる。あま市が核とする人権教育の背景には、子どもたちが自己有用感に包まれつつも、厳しさやたくましさ、自浄能力・自治能力育成を意図としたものであることを願いたい。また、道德教育の推進においては特定の実践校のみでなく、市内の全小中学校へ確かな広がり期待される。

第2は「あま教師塾」と「教師力パワーアップ研修」の活動についてである。前者は、青年教師の力量と資質向上を図ることをねらいとしている。この塾は同好会として扱われており、教師たちは勤務を終えた後、任意で通塾し研修を重ねている。自主的で前向きな先生方の姿勢に敬意を表したい。後者は各校の関係職員を対象として、学習指導から危機管理に至るまで多岐に渡る研修である。これらの取り組みはあま市独自の実践として教育界の衆目を集めている。さらに社会の要求に応じた研修も期待したい。

第3は各校がその実情に応じた夢の実現をめざす「特色ある学校づくり事業」である。これも市独自のものである。この事業は、学校経営を従前の画一的なものから主体的なものに変容を促し、活性することを意図している。いずれ実社会に出る子どもたちにとって有益な「実学」が導入されることを期待したい。但し、所期の目的を達成するためには、単に新しい活動を展開するだけでなく、従来の教育活動に対して新たな価値を付加した取り組みが要求される。しばらくは注視したい。

第4は学区再編である。理想的な学校教育を進めるには、児童生徒数も大きな要素となる。それは、教員配置、学校行事、部活動、施設設備、さらには人間関係づくり等にも関わるのである。子どもたちが望ましい環境下での学習できるためにも、適正な規模への再編は優先すべき課題である。保護者や地域との話し合いにより理解を得る努力を続けることは無論だが、学区見直し検討委員会等を始めとする関係者の英断が待たれる。

○生涯学習について

10年後、我が国は少子高齢社会のピークを迎える。この障壁を乗り越えるには、持続可能な子育て支援と女性の社会進出は必定である。そのような環境において、託児付きの公民館講座は女性の視点に立った取り組みとして大いに評価されるものであり、これからの講座・教室等のあり方を示唆するものである。また、親子で活動する講座も多く開かれ、地域コミュニティの人間関係に静かな広がりをもたらしている。さらに、ものしり検定や歴史散策等は、老若男女ともに郷土愛を育むための活動であり、継続すべき事業である。

今後は、市民の学習意欲を喚起し、地域社会の文化度を高めるという目標に向けて、粘り強い啓発と斬新な活動が望まれる。さらに、将来リーダーとなって地域を牽引する人材を育成するため、若い世代が参画・活動ができる環境を整えることを提言したい。

市民には未だ合併前の3町を意識する向きがある。これをすべて否定するものではないが、できる限りこの垣根を低くすることも生涯学習に期待されるところである。